

MI_2510: 制御電子装置を含む排水ポンプの改修マニュアル
- XS ; 6-2/3

iCombi Pro 6-2/3 / SCC XS / CMP XS



60分



標準



2025/09/11

テーマ

この取扱説明書では、iCombi 6-2/3、SelfCookingCenter XS、CombiMaster Plus XSの各シリーズ（インデックス：I、J）の排水ポンプの改修と交換について説明します。

対象となる製品/アクセサリー

iCombi Pro / SelfCookingCenter / CombiMaster Plus 電気式ユニット

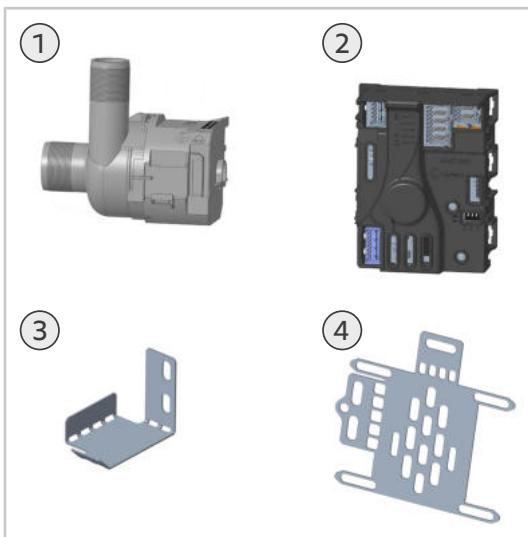
- 6-2/3
- XS

必要な工具

- 標準

対象となるコンポーネント

コンポーネント	キットの品番
排水ポンプ	87.01.954S



コンポーネント		品番
1	排水ポンプ	56.01.949
2	制御電子装置	40.07.630
3	排水ポンプホルダー	56.02.049
4	制御電子装置ホルダー	56.01.849

一般情報

注記

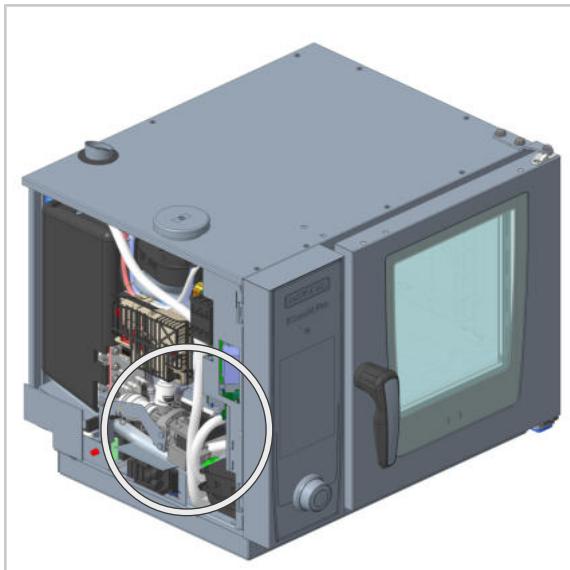
コンポーネントの取り付けをサービスレベルに記入します（タブ「コンポーネントの交換」）。これはメンテナンス履歴の一部です。

ターゲットグループ

設置、検査、メンテナンス、修理の各作業は、研修を受けた技術者ならびにメーカーに認定された技術者のみが実行できます。事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

注！詳細については、設置マニュアルを参照してください。

取り付け位置



安全上の指示

⚠ 危険

電源に接続する際の高圧

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- 誤って再起動しないようにしてください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

⚠ ご注意

鋭利な部品

鋭利な部品を扱う作業時には切り傷を負う危険があります。

- 鋭利な部品を扱う作業の際には保護用手袋を着用してください。

⚠ ご注意

設置の際の挫滅のおそれ

指、手、足がユニットに挟まれて挫傷する危険があります。

- 設置の際には適切な保護服を着用してください。
- ユニットは、所定の吊り上げポイントでのみ持ち上げます。

⚠ ご注意

ポンプに液体が残っていると、けがを負うおそれがあります。

ポンプ内に少量の液体が残っている可能性があります。この液体の残留物はクリーナの残留物を含んでいる場合があります。

- 規定に従って保護服、手袋、保護マスク、密閉型の保護めがねを装着してください。
- 皮膚に接触した場合は、十分な量の水で患部を洗浄してください。

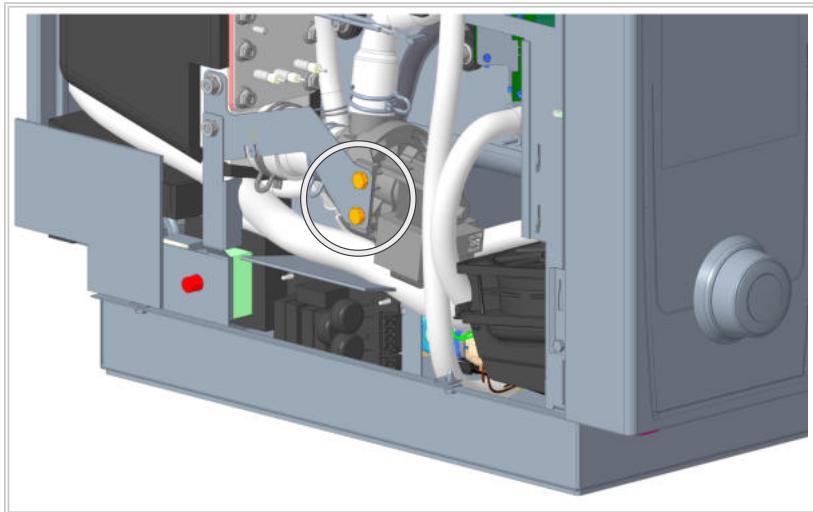
注記

地域および国ごとの安全・試験規定を遵守してください

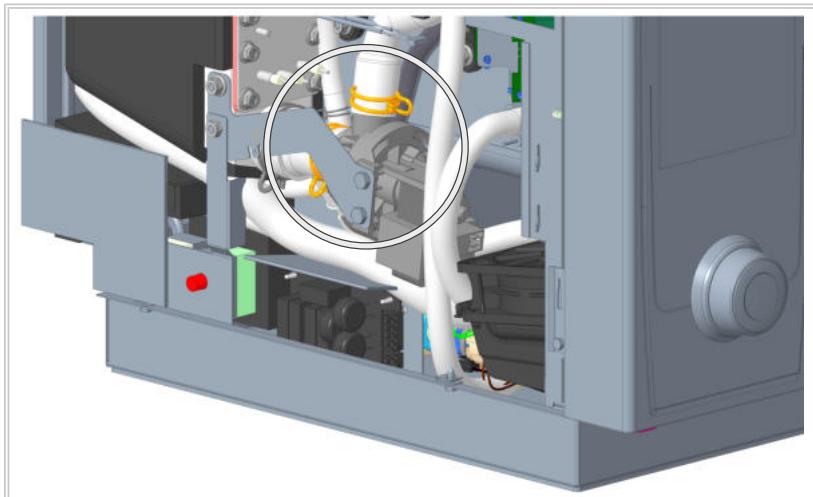
RATIONALのユニットに関する全ての作業には、それぞれの地域、国別の安全および試験規定が適用されます。これらの規制は地域によって異なる場合があり、国ごとに異なるため、本書では個別に記載していません。技術者は、これらの規則を遵守する責任があります。

作業手順 - 排水ポンプの取り外し

- ✓ ユニットが通電されていない状態になっています。
- ✓ 左側のサイドパネルが開いています。
- 1. 排水ホースを使ってスチーム発生器を空にします。
- 2. 排水ポンプの接続を外します。
- 3. 排水ポンプをポンプホルダーから取り外します。



4. チューブクランプを緩め、排水ポンプを取り外します。

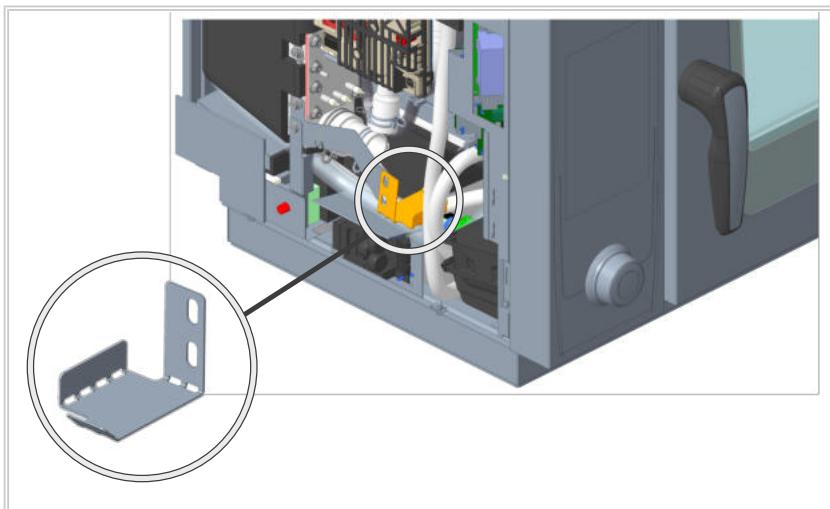


> 排水ポンプの取り外しが完了しました。

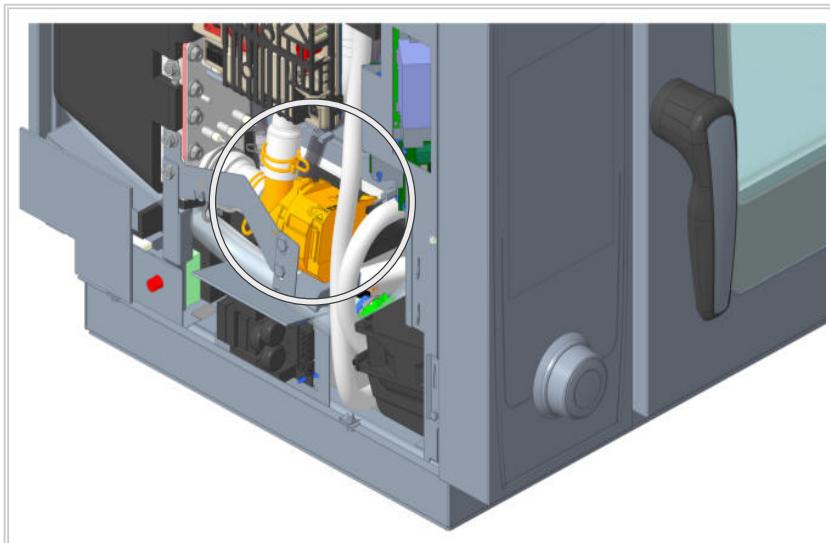
作業手順 - 排水ポンプの取り付け

- 排水ポンプのホルダーをねじでしっかりと取り付けます。

注記: 排水ポンプが支えられるように、排水ポンプのホルダーを曲げて位置調整します。



- 新しい排水ポンプをポンプノズルと排水ホースに接続します。

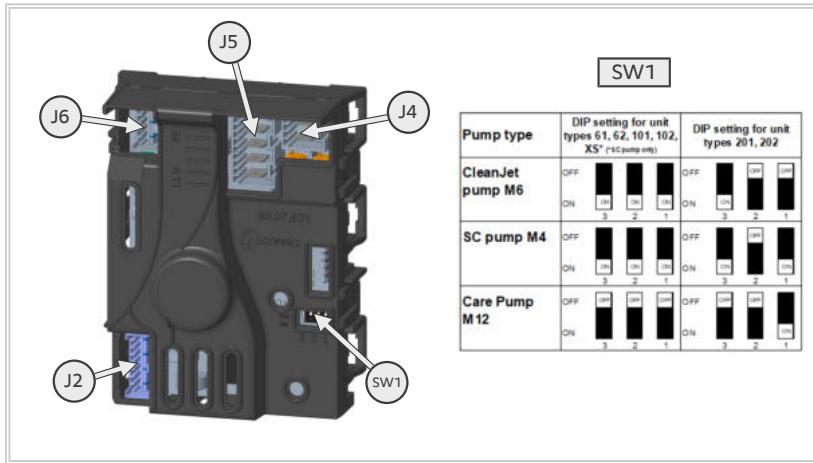


- 3本のケーブルをすべて制御ボードに接続します。

注記: すべてのケーブルはポカヨケです。DIPスイッチはユニットに合わせて設定する必要があります。

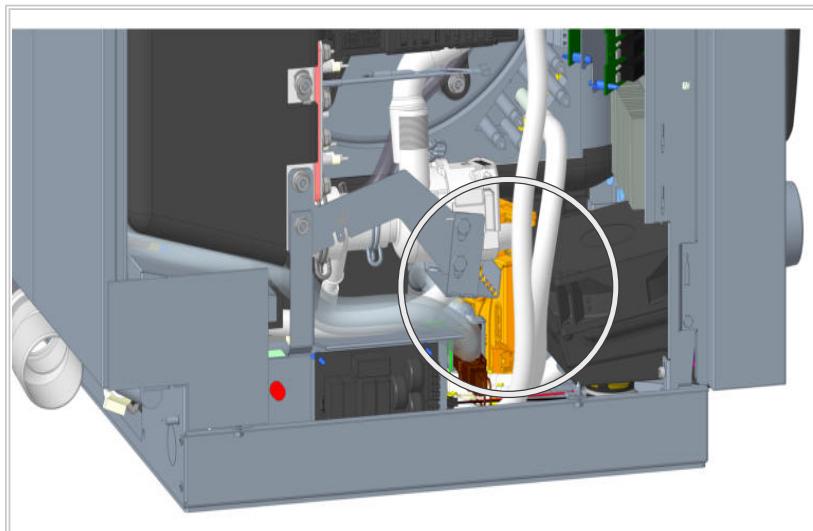
- (J6) 制御ボードの電圧供給

- (J4/J5) ケーブルハーネスからの接続プラグ (プラグが付いていない場合はL1、N、PEに注意してください)
- (J2) 排水ポンプと制御ボードの接続
- 表に記載されているスイッチ位置 (SW1) に注意してください。



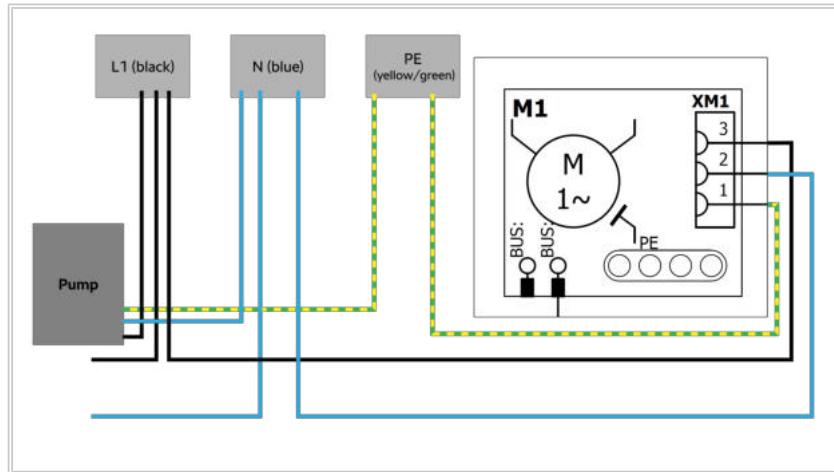
3. 制御電子装置を差し込みます。これは冷却ファンの隣に配置する必要があります。

注記: 制御電子装置ホルダーはユニットサイズXS / 6-2/3では不要です。



4. WAGO接続端子を用いて電圧供給を確立します。

- 導線L1（黒）とN（青）を切断します。
- 端部をそれぞれWAGO接続端子につなぎます。
- 導線PE（黄・緑）を切断しないでください。これは同梱のケーブルで接地されています。



5. 機能テストで排水ポンプの動作を点検します。

>> これで排水ポンプの取り付けの完了です。

